

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称	
492	健康教育事業	会計	01	一般会計		
		款	04	衛生費		
基本施策	1	10万市民の健康を維持する	項	01	保健衛生費	
			目	01	保健衛生総務費	
担当部課名	阿山支所 健康福祉課		細目	102	保健事業	
作成者氏名	森下 泰成	連絡先	43-9711	細々目	02	健康教育事業(負担金分)

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	40歳以上の市民	健康に対する意識改革ができ、壮年期からの健康の維持、増進ができる。			
本年度事業内容	自らの健康を考える機会を提供し、生活習慣病及び介護状態になることを予防する。 「はっするくらぶ」の開催、生活習慣病予防教室の開催、出前講座の開催				
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	老人保健法

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.3	0.3	0.3
人件費合計(A)	2,160	2,160	2,160
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	107	45	45
委託料	11		
報償費	55	35	35
需用費	36	10	10
役務費	5		
合計(A+B)	2,267	2,205	2,205
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金	76	30	30
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	2,191	2,175	2,175
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
健康教育事業経費	円	107	45	45			
「はっするくらぶ」開催数	回	42	30	30			
生活習慣病予防教室	回	5	5	5			
出前講座	回	3	5	5			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
健康教室開催数	健康教室の開催数とする	回	50 目標 ()	40	40
健康教室参加者数	健康教室の参加者数とする	人	1,112 目標 ()	1,000	1,000

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

老人保健事業対象事業であるが、18年度から65歳以上は介護保険法による介護予防事業へ移行し、対象が40歳から64歳までとなる。64歳以下を対象にした健康教育となると参加者は減少すると見込まれるので、まちづくり協議会との共催にする等の検討が必要。

評価	必要性	4	健康を保持し生活習慣病予防、介護予防のために必要	総合評価
	有効性	3		B
	達成度	2		
	効率性	3		